

2022年3月18日

各位

双日株式会社

双日、自動車の内外装自動撮影・スキャンシステム開発の独・Twiner GmbH と
資本業務提携

～次世代型技術を活用し自動車流通の透明性を高め、販売の効率化にも寄与～

双日株式会社（以下「双日」）は、このたび、ドイツの自動車内外装自動撮影・スキャンシステム開発会社Twiner GmbH(以下「Twiner 社」)に出資参画し、日本における販売総代理権を獲得しました。

Twiner 社が開発したスキャン装置「Twiner Space」は、自動車の内外装を5分ほどで360度パノラマ撮影・スキャンをし、AIの活用によりクラウド上で処理することで対象車両のデジタルツインを生成することができます。その結果、一度の撮影で車両の状態（内外装のキズ・凹み・擦れ、フレーム歪み、修復歴・板金塗装の履歴およびタイヤの溝など）の検出が可能となり、スキャン結果はアプリを通してタブレットで確認できるとともにあらゆるカットの画像を第三者に提供することもできます。



【Twiner 社のスキャンシステム概要】

Twinner 社の先進的な技術は欧州において注目を集めており、次世代型技術の開発に成功した企業・研究者に贈られるドイツのフーゲー・ユンカーズ賞を2019年に受賞しています。

「Twinner Space」は主に欧州の自動車メーカーが自社販売ネットワークに導入していますが、自動車メーカーのみならず自動車流通バリューチェーンを構成する各プレイヤー（オークション会社、リース会社、保険会社、陸送会社、車両商品化センター、自動車販売会社など）に幅広く利用されています。Twinner 社としても企業向けに限らず一般ユーザー向けスキャンサービスを開始しており、自動車撮影・スキャンシステムのセグメントにおけるリーディングカンパニーの地位を確立しています。日本では今年7月に、1号機を双日オートグループ東海・アペルタ名古屋店（愛知県・清洲市）の敷地内に設置し、一般公開します。

中古車の流通においては一台ごとに異なる状態や過去履歴などの車両情報の透明性に課題があるなかで、「Twinner Space」を提供することで販売店がデータを効率的に活用することができます。また、「Twinner Space」はサブスクモデルでの提供となります。双日は、車両情報の質と量の両方を格段に高めるとともに、「Twinner Space」を自動車流通オンラインプラットフォームの要素の一つになるものと位置付けており、自動車流通におけるDX化に寄与していきます。

（ご参考）

【Twinner の概要】

会社名	Twinner GmbH
設立年	2019年
本社所在地	Edmund-von-Lippmann-Str.13-15, 06112 Halle(Saale),Germany
代表者	Mr. Silvan Cloud Rath
事業内容	自動車の内外装自動撮影・スキャン装置製造および販売
従業員数	およそ100名
ウェブサイト	https://www.twiner.com/

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404